

果実 カラーチャート付き手袋開発

収穫時の誤判定などを軽減

三重化学工業

三重化学工業の2011年10月期業績における

手袋部門の売上高は対前期比で8%増となる見込み。利益に関しては、同社の手袋生産で9割を占める中国工場（委託工場含む）の人件費高、原材料の高騰、また、国内商品価格のデフレ傾向などですべてを価格に転嫁できない状況。

原材料価格の高騰について同社では、企業内でコストアップ分を吸収する努力も行ってきたが限界にきている

とし、メーカーとして商品の安定供給をはかるため、手袋価格改正を実施した。

同社は、大きいマスを狙わず、小さいマスを見つけ、そのニーズに合致した商品を開発する」という企業方針に基づき、ものづくりの技術を生かしたオリジナルティある商品の開発に取り組んでいる。「量は売れなくてもいい、必要としてくれるユーザーのニーズに応えられる商品を開発していきたい」と同社は語る。



果実カラーチャート付き手袋

新商品の「果実カラーチャート付き手袋」もその取り組みの中から生まれた商品。同商品は、みかんや柿などの収穫時に、手袋に付けたカラーチャートと照らし合わせることで、①収穫時に果実表面色を識別でき、誤判定を減少②収穫時間のロスを軽減③測色の作業効率向上

「上」などに貢献する国のJ.Aを通じて販売される。

これまで、果皮色の出荷基準にはカラーチャート板が用いられていたが、作業時に邪魔になったり、収穫する人によって果色にバラつきが出るなど、問題点も多かった。新商品はこうした問題点を克服するため、三重県中央農業改良普及センターと共同で開発されたもの。現在、特許を出願中。

ラインアップは、「極早生みかん用」、「早生みかん用」、「柿用」の3タイプで展開し、全

3月に発生した東日本

大震災では、民間企業に手袋を無償で提供するな